

【宝永2年・1705】

- 1/8 花巻御給人一方井庄太郎は江戸上屋敷台所奉行に、同神山市内は上屋敷破損奉行に任命、3月江戸上り
- 1/10・鳥討、和賀通は雫石弥右衛門、花巻御城廻は中野新介、石鳥谷通は大森金之尉
・黒沢尻番人交代、藤村清左衛門・山田太郎兵衛・沖孫太夫→藤田太郎兵衛・沖弥市 右衛門・白石与六
- 1/18・改名、長沼治五右衛門→同五郎左衛門
・檜山五左衛門隆常病死、五左衛門判形を回収(同21日印・居判を老中箱へ)
- 1/29 日戸五兵衛(もと花巻城代)、江戸上りを免除
- 2/5 豊沢川橋本で花巻川口町助八殺害を詮議、容疑者へ科金
- 2/11 松前志摩守様、花巻1泊(翌日松前へ出立)
- 2/15・高木通代官交代、照井多左衛門→中市吉右衛門 八幡通代官交代、四戸庄助→簡作右衛門
・黒沢尻代官交代、一方井庄太郎(上屋敷台所奉行)→小山田善左衛門
・鬼柳代官交代、神山彦右衛門→富沢六左衛門
- 2/17 暮れに黒沢尻・花巻両蔵から主税様(政信)へ米700俵(4斗入り)上る
- 2/19 大迫代官交代、石亀権左衛門→多田仁右衛門
- 3/1 藤田宇兵衛、剃髪し絵御用、3人扶持加増し8人扶持となる
- 3/4 檜山五左衛門病死につき、鬼柳・花巻・石鳥谷・郡山の通筋に掲げる制札を書直し
- 3/12 雑書及び遠近帳書役交代、神又兵衛→照井市平と大里重内(御家中諸士遠近帳、勘定所から取り込み、目付所で元禄12年から着手)
- 3/13・花巻城代松岡藤右衛門、往来の際人足4人と伝馬1匹借用を認可 広照院花巻1泊(江戸へ向かう)
- 3/14 春の検地、花巻へ目付青き八郎右衛門を派遣
- 3/17 八戸藩主の花巻宿泊の際、料理人2人と賄1人盛岡から派遣、花巻城代御機嫌窺いに参上に留めることを指示
- 3/22 八戸藩主右近様(通信公)花巻御仮屋で1泊(江戸上り)
- 3/25・老衰の長谷寺隠居、弟子の高松寺を後住にする申請の認可、永福寺帰国まで延期
・八戸彦市、台で湯治休暇
- 3/29 大迫村桂林寺、寺材木申請
- 4/12 松川忠左衛門、三戸の同藤四郎へ洗濯物(綿入れ小袖など4着)を送る
- 閏4/12・殿様、花巻1泊(4月30日江戸発、閏4月13日盛岡着)
・官位取得に上方へ上る花巻年行事定覚院へ金17両下賜
- 閏4/15・花巻御給人戸来熊之助と神山七郎助、同与力名須川小兵衛、安堵金2歩ずつ指示、殿様花巻1泊の折御礼申上
- 閏4/16 長沼五郎左衛門、光源院付となる
- 閏4/18 松岡藤右衛門、花巻城代(檜山茂右衛門と同役)と御用人兼帯に任命
- 閏4/19・松岡藤右衛門へ、往来の際貸与の人足と伝馬停止(城代役料支給による)
・跡式、花巻御給人小原平十郎→同文助(5駄2人扶持)
- 閏4/20 花巻高松寺後住に長谷寺
- 閏4/21 花巻城代檜山茂右衛門、藩主入部祝儀に川鱒2本を献納
- 閏4/22 花巻城交代、檜山茂右衛門(御用人任命)→宮部図書(相役松岡藤右衛門)
- 閏4/23 檜山茂右衛門手廻、花巻から引越し(人足20人と伝馬7匹貸与)
- 5/3 花巻城代、端午の祝儀に着1折と湯煮蕨5把を献納
- 5/9 寿昌院様、花巻1泊、花巻城見物の予定(5月11日花巻着)
- 5/12 前日寿昌院様、町奉行先導で花巻西御門から城内に入り御座敷見物、蕎麦切とお茶を食し出立。
- 5/16 献上のカタクリ粉、江戸へ送る(6月8日公儀へ献納)
- 5/21 黒沢尻蔵奉行交代、大守庄兵衛→柴内作右衛門
- 5/23 飯富了通、元禄9年畑返し切添証文を受けながら櫛目村で披立のないことから、代替地を申請
- 5/27 江戸秋代役人、上屋敷末鍵番遠藤六右衛門→平賀一郎右衛門(平賀一郎右衛門病気により大ヶ生庄兵衛と交代)
- 6/4 跡式、昆喜右衛門→弟・喜七郎(地方現米は取上げ、金方100石、跡式以前の喜七郎の10駄2人扶持も取上げとなる)
- 6/7 松前志摩守へ、音信としてカタクリ粉と塩鶉各1箱送る
- 6/9 隠居の白石玉友、関氏房刀1腰を献納
- 6/12・寺林の光林寺へ下馬札、許可(8月5日下馬札立つ、花巻城代立会い)
・花巻新蔵(奉行カ)交代、田鍍源左衛門→根城又兵衛(もと大工奉行)
- 6/16 花巻城代宮部図書、美濃魚2本と鮎鮓1桶を献納
- 6/20 寺林の光林寺、本寺の藤沢・浄光寺へ上るため暇願い、認可。

【宝永2年・1705】

- 6/21 京町本家から戻った本町近江屋市兵衛、探幽筆3幅対等献納
- 6/25 松林寺子安地藏祭礼済む(花巻城代の報告)
- 7/4 早池峰山祭礼、妙泉寺へ大迫蔵から15駄下賜
- 7/13・擧駒に、花巻は三上左助、大迫と遠野は池田奎太夫を派遣
・和賀水沢銅山奉行に、浅石八郎と西海枝助九郎を任命。
- 7/26 御中小姓煤孫勘兵衛、花巻の親類取調べに伴い遠慮の処分(8月29日遠慮御免となる)
- 7/30 万丁目通代官交代、奥寺孫兵衛→新渡戸九助
- 8/1 万丁目通代官交代、刈屋武助→和井内甚平(もと武具奉行)
- 8/3 高木通代官交代、平賀一郎右衛門→伊藤次郎右衛門
- 8/4 和賀郡館追村之百姓、年期明けの帰国願い
- 8/6・鳥討、花巻城廻は中野新介、和賀通は雫石弥右衛門、石鳥谷は大森金之尉
・広照院殿、前日花巻1泊、今朝辰の刻御立
- 8/8 花巻町奉行交代、藤根五郎左衛門(病身辞任)→松尾吉左右門
- 8/16・高木通代官交代、中市吉右衛門→村角安右衛門
・花巻本蔵奉行交代、村上勘兵衛→亀ヶ守(森)一郎兵衛
- 8/27 漆の実取役人、大迫は片岸庄太郎、花巻八代官内へ菊池半兵衛と米倉文右衛門を派遣
- 8/28 花巻城塩硝小屋へ盗人、成敗(発見の御城大工小屋番へ御米2駄褒美)
(花巻与力煤孫治兵衛子の治太郎、6月29日夜花巻城塩硝蔵を破り塩硝1升を窃盗、大工小屋番が発見→治太郎は伯父煤孫治助家で7月27日成敗、父・治兵衛は息子を庇い虚偽の陳述により身帯召上、伯父治助は閉門の処分)
- 9/2 花巻御用之間取次役交代、煤孫治助(遠慮の指令)→根守治平(役料15駄)
- 10/3 花巻城代、熟柿30を献納
- 10/5 翌春供上り、御番人長坂十太夫・中村才十郎・伊藤次郎右衛門
- 10/9・老衰の花巻八幡寺住職、隠居。後住は弟子の信楽寺。・大迫山へ杉植林、礼金各10両で許可(52,500本)
- 10/9・大迫町の酒屋久次と同町伊八郎、礼金免除され、褒美に金10両下賜(大迫で杉1万本植林を評価)
・煤孫治助、逼塞を免除、知行100石を取上げられ、金方20両
- 10/14 花巻御給人乳井半十郎養子、御歩行金田一弥二郎
- 10/22・鬼柳代官交代、西川小右衛門→長山忠右衛門
- 10/22・花巻新蔵目付に下河原武兵衛、花巻新蔵目覆奉行に石川忠兵衛と佐藤甚平、花巻本蔵目付に舟越与兵衛、花巻本蔵目覆奉行に瀬川助左衛門と平沢万右衛門、大迫御蔵目付(目覆奉行兼任)に豊川又左衛門、黒沢尻蔵目付に今淵半九郎、同日覆奉行に葛利兵衛と高橋瀬兵衛を任命
- 10/28 宗旨改、稗貫郡30,312人、和賀郡26,769人(花巻町人口は不明)
- 11/16・同13日大迫の外川目村板橋で火事。藩主、毛馬内家を訪問し備州長船盛光の脇指1腰ほか下賜
・毛馬内家から雪舟筆山水と古法眼筆布袋を献上
- 11/20 花巻町奉行交代、松尾吉左衛門→鴨沢忠右衛門
- 11/23 殿様、漆戸主膳家を訪問し、雪村筆1幅献納される
- 11/27・跡式、小山田善右衛門→同善左衛門(119石3)
・殿様、奥瀬内膳家を訪問し紀貫之1幅献納される
- 11/30 公儀御買馬、昨28日午の下刻に花巻着
- 12/2 花巻城代官部函書、美濃魚1本持参し戻る
- 12/4 藩主、法輪院を訪問し、雪村筆ほか献納される
- 12/12・花巻八幡寺と櫛引八幡別当普門院、来る正月より独礼の由
・昆喜七郎、父喜右衛門拝領の御紋上下の着用を認可される
- 12/13・花巻城物書神山忠内、4年間の勤務評価され、2人扶持と四季施2両を支給される
・花巻城物書三田文右衛門、勤務評価され、3駄支給される
・花巻与力鈴木彦右衛門、知行所畑返し切添により、50石となり、御給人となる
・花巻信楽寺、八幡寺後住の処、信楽寺後住となる
- 12/26 花巻城代、御歳暮に干蕨、串柿、鮭披を献納

【宝永3年・1706】

- 1/2 盛岡城で藩主に50石以上の花巻御給人、年始の目見え
- 1/10 黒沢尻物留番人交代、藤田太郎右衛門・沖弥一右衛門・白石与六→松田弥兵衛・八木橋茂左衛門・宮田武兵衛

【宝永3年・1706】

- 1/13 鳥討、石鳥谷は大守金之丞、花巻中通は中野半右衛門、和賀通は中野新助
- 1/14 花巻城交代、松岡藤右衛門→沢田一郎左衛門(相役宮部図書)
- 1/17 黒沢尻河岸孫四郎、江戸佐久間丁吉左衛門との金子出入り、江戸へ召喚
- 1/21 八戸藩家老新任につき、花巻管内の境番所7ヶ所(鬼柳、立花、更木、浮田、倉沢、田瀬、黒岩)の分、家老判鑑を花巻城代へ送る。鬼柳以外は小荷駄のみ通行を認可。
- 1/28・寺林通代官交代、江刺千右衛門→欠端七兵衛 ・高木通代官交代、伊藤次郎右衛門→奥寺八兵衛
- 2/4 長沼五郎左衛門、光源院役人を解任され、花巻で出仕。
- 2/9 花巻城代宮部図書、美濃魚2本持参し戻る
- 2/18 花巻新堀村で鉄砲窃盗、鳥討大森金之丞押収
- 2/20 郡山と花巻掇駒役人交代、赤沢儀兵衛→伊藤伝右衛門
- 2/25 花巻御給人鈴木彦右衛門、南天1本献上を免除
- 3/9 跡式、花巻御給人松川忠左衛門→清六(100石) 跡式後に平内と改名
- 3/15 藩主に目見え、松川平内(もと清六)と白山寺
- 3/22 安俵通代官交代、根城太郎左衛門→柄内新五郎左衛門
- 3/23 殿様(信恩公)、花巻1泊(4月5日江戸着)
- 3/26 主税様へ前年暮の合力米300俵(花巻新蔵162駄余)送る
- 4/14 水沢銅山で手代の盛岡十三日町町人殺害される
- 5/4 花巻城代、端午の祝儀に干鱈3枚と湯煮蕨5把を献納。
- 5/26 花巻山伏年行事常学院、自光坊立会い、支配の山伏で不服の山伏3人へ牢屋入りを申し付け。
- 5/27 桜庭十郎右衛門病死、印判・居判を封印し御用箱に納入(6月13日制札書直し)
- 6/2 舟帯船頭で黒沢尻河岸の3人、花巻で4日に成敗の上、黒沢尻で獄門の処罰(前年4月江戸廻米が石巻で破損した折に藩米窃盗が露見したことによる)
- 6/3 江戸役人秋代、上屋敷末鍵番駒嶺作右衛門→照井与五右衛門(6月29日江戸役免除)
- 7/3・藤根五郎左衛門、惣結を認可される
 - ・新渡戸三郎兵衛と岩清水長吉、前年9月ごぜ2名を通行手形所持のまま通行を認めたことから鬼柳番所勤務を解任され遠慮の処分、その後の詮議で6月20日遠慮御免
- 7/7 カタクリ粉、公儀へ前月25日献上される
- 7/7 鳥討、石鳥谷は大守金之丞、花巻は中野半右衛門、和賀は中野新助(9月4日中野新助病気で解任、同半右衛門が2ヶ所を兼任)
- 7/18 花巻御給人へ、他領の子を養子にすることを厳禁とされる
- 7/26 大湯八之丞(5月1日欠落)の母、妻、娘計5人への助け扶持支給、子へ支給していた切米3駄1人扶持を母へ支給(オ一郎の所追放は解除せず)
- 8/4 二子通代官交代、阿野太郎兵衛→八木橋茂左衛門
- 8/4 松川平内、三戸の同藤四郎へ洗濯物を返送する
- 8/5 掇駒役に郡山・花巻・柴野・大迫に太田伊介と赤塚弥右衛門
- 8/30 主税・主計様の知行所を御蔵入りとし、現米支給に切替え
- 9/3 古切支丹の花巻百姓清兵衛の娘77歳で死去、遺体は塩詰(公儀宗門奉行に報告)
- 9/19 漆の実取奉行、大迫は東野儀兵衛、花巻8代官内は川村覚兵衛と池田覚之助を派遣
- 10/12 目覆奉行、花巻新蔵は葛利兵衛、花巻本蔵は岩間伴右衛門、黒沢尻蔵は米倉太郎左衛門を任命
- 10/13 江戸登諸士遠近帳と雑書役の見習いに野村宇兵衛。照井市平と大里十内の3人体制(照井が翌春江戸上りまでの暫時)
- 10/20・蔵目付、花巻本蔵は箱崎介左衛門、花巻新蔵は野田左太夫、黒沢尻蔵は野村儀太夫を任命
 - ・大迫蔵目覆奉行に長沢善左衛門を任命
- 10/25 花巻と郡山の買米御用に、長嶺治之助と女鹿四郎兵衛を派遣
- 10/28 成島村六郎右衛門、熟柿25を御袋様に献納
- 11/2 宗旨改 稗貫郡32112人、和賀郡26899人
- 11/19 鬼柳通代官交代、富沢六左衛門→高橋多右衛門
- 11/23 花巻御給人大湯門介(3駄1人扶持)の婿養子に菊池八右衛門
- 12/10 忌明の中島源内へ、親万兵衛の2人扶持と切米5駄を支給

【宝永4年・1707】

- 1/10 黒沢尻物留交代
- 1/18 花巻町と黒沢尻の俵物改め
- 1/20 花巻川口町留兵衛、同新町市左衛門へ家屋敷・酒蔵・箒を借金代りに譲渡

【宝永4年・1707】

- 2/5 江戸廻米御用で石巻へ御給人派遣をやめ、勘定頭と部下の派遣に切替
- 2/28 仙台北城下大火で仙台北陣類焼
- 2/9 二子通代官八木橋茂左衛門→大ヶ生庄右衛門、舟帯奉行交代
- 2/21 花巻両蔵と黒沢尻蔵の荷組役人任命
- 3・8 古鉄類の他領持出し禁止(仙台北城下大火)
- 5/5 殿様、前日花巻一泊(4月23日江戸発)
- 4/27 他領追放処分中の花巻店屋六兵衛、密かに帰省し、人買いから礼金受領により斬罪に対処)
- 5/23・花巻町奉行鴨沢忠右衛門→赤沢義兵衛 ・花巻御用人沢田一郎左衛門→高野庄兵衛
- 5/25・御用人で花巻御役の沢田一郎左衛門、老齢により解任、休息を命じられる
- 6/3 公儀へ献上のカタクリ粉、江戸へ送る
- 6/4 二子通代官大ヶ生庄右衛門→黒川八郎兵衛
- 7/18 花巻・大迫へ擧駒役人派遣
- 7/13 和賀川川除普請に役人派遣
- 8/22 花巻御給人高橋長作、不行跡で身帯没収
- 9/28 作柄不況に鳥討中止
- 9/15 大迫漆攪奉行任命
- 10/5 毛馬内九左衛門、台へ湯治
- 10/11 大迫代官多田仁右衛門→
- 10/12 松前志摩守息女、14日花巻一泊(予定)
- 10/22 家中知行替え、取次中止
- 11/5 花巻両蔵の奉行・目付任命
- 11/13 大迫代官松岡武兵衛→江刺家彦太夫
- 12/8 殿様(信恩)病死(30歳)
- 12/11 花巻本蔵目付と黒沢尻物留番交代

【宝永5年・1708】 記事記載

- 1/8 花巻金山銅山奉行交代、浅石八郎→工藤権六
- 閏1/10 黒沢尻物留番交代、下斗米平四郎と中嶋伝右衛門→帷子左助と山田太郎兵衛、沢里十兵衛(2人制から3人制)
- 1/11 主馬様相続1/4認可
- 閏1/21 鳥討、花巻は大守金之尉、和賀は雫石弥右衛門、石鳥谷は中野新助
- 2/1 黒沢尻物留番交代、帷子左助→山本嘉藤二(3月6日小向四郎右衛門に交代)
- 2/4 雑書遠近御用の大里十内・野村宇兵衛(御目付所御用兼任)へ合力米支給
- 2/6 三田源右衛門名跡、煤孫村源助(病死、実は嘉兵衛子)→同吉六(16歳)
- 2/10 花巻御給人松川平内、江戸番人の指令(4月6日江戸へ出発)
- 3/3 安俣通代官交代、柄内新五郎→鴨沢兵左衛門(5月1日鴨沢氏病氣辞任、山屋勘左衛門と交換)
- 4/25 仙台北境駒ヶ嶽御堂(前年9/13大風で大破)、建立の必要性を花巻役人内申し、許可
- 5/6・江戸代官丁普請手伝に、佐藤友右衛門・新渡部三郎兵衛・門屋助右衛門・中島権四郎・佐々木平蔵ら派遣 ・八幡通代官交代、中沢民右衛門→藤根清右衛門
- 5/6・万丁目代官交代、和井内甚平→中川原判平
- 5/17 花巻で昼休みされた八戸藩主右近様、水沢から再び花巻に戻る
- 5/21 江戸代官丁普請手伝の御用金、100石につき1両の献上を指令
- 6/12 鬼柳代官交代、永山忠右衛門→沖弥市右衛門
- 7/4 跡式、一方井庄太郎→子嘉助(25駄) 四戸平兵衛→子黒作(65石)、二ヶ村甚右衛門→子文次郎(100石)
- 7/7 鳥討、石巻は大守金之丞、花巻は中野新助、和賀は雫石弥右衛門
- 7/19 せり駒改に、花巻へ八木沢源太と福田嘉兵衛、郡山と大迫へ池田杢太夫と石亀十右衛門を派遣
- 7/20 舟帯(ひらた)奉行交代、大沢甚右衛門→金田一久左衛門
- 8/13 二子代官交代、黒川八郎兵衛→高橋与四郎
- 9/24 藩御蔵へ米上納につき、御蔵目付と目覆奉行派遣
- 10/1 跡式、永井利左衛門→子利兵衛(15駄)、戸田喜左衛門→子忠兵衛(10駄2人扶持)
- 10/16 跡式、小森林与五左衛門→子吉右衛門
- 12/14 大工棟梁美松儀右衛門婿養子に、伊藤宇伝次

【宝永6年・1709】 記事記載

- 1/ 8 霊巖院(信恩公)法事で、一方井武郎(同庄太郎次男)と大湯一郎(同才五郎嫡子)追放赦免
1/10 鳥討、花巻城廻は中野新助、石鳥谷は大守金之丞、和賀は雫石弥右衛門
1/17 將軍綱吉公、1/10 死去
1/19 改名、松川平内→勝右衛門(江戸で)
3/ 5 改名、宮守平馬→五郎右衛門
3/19 寺林通代官交代、石井与五郎→遠藤惣三郎
3/28 花巻新蔵奉行交代、根城又兵衛→鈴木弥五右衛門
4/ 4 綱吉公葬儀による大赦で松川藤四郎御預御免、(但し三戸代官所以外の外出禁止)、藤四郎子ども2人(松川忠左衛門預り)も赦免
4/13 跡式、岩清水長吉→子長介(89石)、梅木介左衛門→子専右衛門(10駄)
4/14 公儀法事大赦、高橋長作勘気御免(但し閉伊通以外の外出禁止)、一明院牢舎御免
4/29 安俵通代官交代、山屋勘左衛門→佐久間民右衛門
5/11 跡式、松川勝右衛門→子孫三郎
6/ 1 殿様、江戸より盛岡着(初入部)
6/ 6 花巻の簡作十郎(与力甚衛門子)、藩主に盛岡城で目見え
6/12・新田普請奉行交代、葛西庄兵衛→竹田三郎(江戸より下り、禄は花巻で32人扶持支給)
6/12・信楽寺隠居し、長谷寺堯栄が後住となる
・照井源右衛門の名跡を宮守清次郎、継承(7月28日盛岡城で目見え)
・跡式、花巻勘定方の岡市郎右衛門→子の六右衛門(7月28日盛岡城で目見え)
6/15 盛岡城中丸で月次のお礼、継目の松川孫三郎、岩清水長助、四戸黒作、一方井嘉助、永井利兵衛、戸田忠兵衛、梅木助左衛門、小守林吉右衛門、花巻から移住の岩間藤助、雫石千松(同弥右衛門子)
6/28 月次のお礼、花巻御役医村岡的庵(古川寿楽弟子)目見え
7/ 2 花巻郡交代、宮部凶書(病気)→野々村宇右衛門
7/ 3・解任、舟帯奉行の金田一久左衛門、大迫代官の葛西市右衛門、黒沢尻代官の小山田善左衛門、安俵代官の伊藤一郎兵衛、寺林代官の遠藤惣右衛門、黒沢尻蔵奉行の柴内作右衛門、大迫蔵奉行の大釜彦右衛門。
・盛岡城三階鯉棟上げ挙行
7/ 7 鳥討、石鳥谷は中野新助、花巻へ大森金丞、和賀は雫石弥右衛門
7/10・花巻新蔵奉行交代、江刺家平吉→山口新助
・黒沢尻蔵奉行交代、柴内作右衛門→斗ヶ沢長三郎
7/12・花巻新蔵奉行の鈴木弥右衛門、解任
・花巻本蔵奉行の亀守市郎右衛門、解任
・花巻町奉行赤沢義兵衛、解任(本人11月1日借物奉行に就任)
・与力で御物書の沢田喜平、江戸へ2度上り、良好な勤務により与力御免となり花巻支配から除く
・跡式、松川勝右衛門→子の孫三郎(7歳)、但し伯父の条助(30歳)が番代となる
7/13・大迫代官交代、葛西市右衛門→小田嶋源右衛門
・安俵代官交代、佐久間民衛門→高田小平
・黒沢尻代官交代、小山田善左衛門→中嶋伝右衛門
・寺林代官交代、遠藤惣右衛門→永田善左衛門
7/13・舟帯奉行交代、金田一久左衛門→立花儀右衛門
・大迫蔵奉行交代、大釜彦衛門→山元文左衛門
7/17・安俵通代官交代、伊藤市郎兵衛→中館清左衛門
7/18 松川藤四郎子二人の花巻より外出認可、藤四郎も三戸からの外出認可となる
7/22 高木通代官交代、奥寺八兵衛→小田代又右衛門
7/23 黒沢尻物留交代、富田柵野衛門→村瀬又右衛門
7/ 2 カタクリ粉1箇(三升入)と鶉、藩主初入部の報告に公儀へ献上
7/26 花巻郡代野々村宇右衛門、藩主に目見えし、御紋上下を下賜
8/ 1 花巻郡代高野庄兵衛、鱸三本ほか献納
8/ 4・花巻相場米蔵奉行の玉山久左衛門と上田市兵衛、解任
・鬼柳代官に神山彦右衛門、就任
8/ 4・二子通代官に佐藤友右衛門、就任
・寺林通代官に平賀市郎右衛門、就任
8/ 6 万丁目通代官交代、新渡戸九助→中野金右衛門
8/ 8・花巻相場米蔵奉行に櫛引十兵衛と中野七右衛門を任命(8/4と関連)
・改名、中館清左衛門→治左衛門
8/ 9・改名、花巻郡代野々村宇右衛門子の舎人→直右衛門
・遠野の番所、鮎買と遊井名田、赤羽根の3箇所、50石から100石の諸士勤務→病人番と幼少番勤務に戻す
8/10・八幡通代官に太田平右衛門、就任
・遊井名田番所に高野庄四郎就任(原田清太夫相手)
8/14 黒沢尻代官、中嶋伝右衛門→鈴木伝右衛門(花巻古人奉行兼任)
8/20 検見役人の派遣
8/21・花巻御給人の正月目見えは郡代附添で2日と6日に盛岡へ参上。花巻郡代の月次お礼、出席不要
8/23・改名、上田市兵衛→同十兵衛
・盛岡御給人折居右衛門七、祖父折居嘉兵衛に家に滞留、許可

【宝永6年・1709】 記事 記載

- 8/30 花巻定目改、郡代に渡す
- 9/ 3・花巻本蔵目付に上山伊兵衛就任 ・花巻新蔵目付に鈴木次郎右衛門就任
・黒沢尻蔵目付に野村左達就任、 ・大迫蔵目付に石川門之丞就任
- 9/ 6 改名、花巻御給人清水忠兵衛→甚之丞
- 9/16 花輪の土深井番所へ通知、花輪藩境を往来する山師の台所荷物は山奉行手判で通行認可
- 9/17 花巻で八戸藩足軽、江戸に飛脚で向かう途中病気、花巻町奉行の報告
- 10/ 6・久慈喜右衛門、花巻移住、3ケ年の休暇下賜
- 10/ 6・名跡、絵師金右衛門→子の子々松(2人扶持)
- 10/ 7・松川藤四郎に4人扶持支給(10月8日花巻御給人となる)
・八幡通官野目出身の陸尺、9月25日より行方不明
- 10/15・花巻郡代野々村宇右衛門、百合草1折と干鯛1台持参し戻る(郡交代で盛岡城へあいさつ)
・弓鉄砲組足軽へ、藩主武芸上覧のため稽古の指令
- 10/20 鹿角の折壁番所、花輪御給人又重庄三郎辞任により、三戸御給人の輪番制
- 10/22 大迫町中町で火事(10月20日夜、18軒焼失)
- 10/25 八幡通代官交代、藤根清右衛門→永山忠右衛門
- 11/ 1 金矢与一兵衛、湯治より戻り、照井沼つづ1鉢献納
- 11/ 4・跡式、小野寺孫左衛門→子長吉(2人扶持)
・聖寿寺参詣の藩主に大迫通亀ケ森村の村田屋三十郎直訴
- 11/20 公儀より巡見使派遣の通知
- 11/28 花巻新蔵目付交代、上山伊兵衛(母の看病)→浜田半左衛門
- 11/30・小川市三郎、江戸に上り狩野休山弟子、江戸滞在中の手当に四季施2両支給
- 11/30・鳥討の大守金之丞へ、2人扶持支給
- 12/ 4 大工奉行交代、松田六右衛門→大沢甚右衛門
- 12/ 7 公儀馬買前日花巻着
- 12/10 改名、人首喜右衛門→人首喜左衛門
- 12/11・長嶺藤助、花巻の中嶋権四郎方へ引越し
- 12/11・阿部安左衛門、花巻御給人藤根五郎左衛門次男の安之丞を婿養子
- 12/15 盛岡城にて月次御礼、松川藤四郎と大守金之尉、松川条助(同孫三郎名代)

【宝永7年・1710】 記事 記載

- 1/ 1 藩主に年始の目見え、上段の間に寿老人三幅対を飾る
- 1/13・黒沢尻物留交代、舟越与兵衛と村瀬又右衛門、本馬孫九郎→毛馬内権七と設楽武右衛門・工藤権太夫・鳥討、花巻城廻は雫石弥右衛門、石鳥谷は中野半右衛門、和賀は中野新六 ・本蔵の人首喜右衛門、新蔵の昆喜右衛門らに褒美米6駄ずつ下賜・寺林の平賀一郎右衛門と永田善左衛門、鬼柳の沖弥一右衛門と神山彦右衛門、二子の高橋与四郎と佐藤友右衛門、黒沢尻の宮手茂右衛門鈴木伝右衛門、大迫の小田嶋源右衛門と江刺家彦太夫、高木の村角安右衛門と小田代又右衛門、万丁目の中河原 原判平と中野七兵衛らに前年年貢物成皆済で満足の旨申渡す
- 1/20・一代官二制人から一代官一人制に削減 ・八幡寺林代官に長牛弥四郎と中野金右衛門
・万丁目二子代官に昆喜右衛門と伊藤二郎右衛門 ・安俣高木代官に宮手茂兵衛と小田代又右衛門
・黒沢尻鬼柳代官に岩館甚右衛門と鈴木伝右衛門
- 1/20・花巻本蔵奉行に桐田清六(中嶋権四郎代)と長坂十太夫、中嶋藤三郎(2人から3人)
・花巻新蔵奉行に亀ヶ守久右衛門と神山義右衛門
・黒沢尻蔵奉行に戸ヶ沢七三郎と奥寺八兵衛、宮治兵衛(2人から3人)
・田名部添役人、大畑は佐藤友右衛門
- 1/23 川舟帯奉行立花義右衛門と佐藤八郎右衛門解任
- 1/24 藤庄五郎新規召出(2人扶持)先年目見えし庄三郎番代をつとめた
- 1/25 万丁目通大沢村山神堂の建立、別当三十郎、境内の杉一本伐採認可
- 1/28 黒沢尻蔵奉行(川舟帯奉行兼任)に四戸黒作を任命(なお蔵奉行三人相役)
- 2/ 7 盛岡新蔵奉行交代、昆喜七郎→小山田文右衛門
- 2/15 花巻御医者村岡的庵、花巻では医書稽古不自由なため、盛岡の師匠古河寿楽に付添い医道稽古(但盛岡支配は不可)
- 2/16・御巡見仮屋普請奉行、土沢、花巻、鬼柳、岩崎の四ヶ所に御者頭下条図書を任命
・花巻ほか御巡見通道橋普請に上田多太夫を任命
- 2/18 寺林通光林寺再興の材木、城代より申請を認可

【宝永7年・1710】 記事記載

- 2/21 高野庄兵衛、内丸居宅から引越し
- 2/27 苗字改の制限
- 2/28・御中丸で花巻御給人伊藤庄五郎目見え(1月24日関連)
・鬼柳通堀切村で他領への開道にて、隠目付 2/25 小荷駄押収、同通惣馬定役人四戸四郎左衛門を命じ、隠目付へ下賜
- 3/ 6 野々村宇右衛門、鱒二本持参し花巻から戻る
- 3/29 花巻の江刺家平吉、御蔵奉行勤務中不埒により閉門の処分(4月3日兄菊池八右衛門同行し、花巻から盛岡に移る)
- 4/ 3・根城又兵衛、花巻蔵勘定の不埒により桜庭与十郎へ預けられる
・江刺家平吉、同右により毛馬内彦右衛門へ預け
- 4/12 跡式、花巻御給人奥寺孫兵衛→子孫太夫(4月28日月次お礼)
- 4/13 表具師五郎兵衛、絵書御用と表具師御用兼任、小笠原与兵衛の指南を受け、御側に召さる場合もあることから剃髪を命じられる(5月24日森休印と名改)
- 4/27 大迫代官交代、小田嶋源右衛門→多田仁右衛門
- 5/14 高野庄兵衛、花巻から川鱒二本持参し戻る
- 5/18・改名、花巻御給人中野七右衛門→同七郎右衛門 ・花巻本蔵奉行交代、長坂十太夫→中野七郎右衛門
- 5/28 花巻御給人二ヶ村文次郎、5月1日花巻の伊藤一郎兵衛所へ参るといい行方不明、身帯(100石)没収
- 6/ 4 中丸上段之間で参勤お礼、継目の高浜友右衛門
- 6/ 6 江刺舎人宅にて賢固、黒沢尻物留の葛西半右衛門出席
- 6/12 馬場清兵衛婿養子に苦米地喜之助(同長左衛門弟)
- 6/19 殿様盛岡発、花巻一泊(7/2江戸着)
- 7/ 7 鳥討、石鳥谷通中野半右衛門、花巻通は中野新介、和賀通は雫石弥右衛門
- 7/26 巡見使、前日大迫一泊(同28日花巻一泊)
- 7/28 信恩、蜂頂賀家と結納、祝いに狩野休山と狩野松休参上
- 8/17・八幡通代官交代、長牛弥師四郎兵衛→黒川八郎兵衛
・黒沢尻蔵奉行(舟帯奉行兼任)交代、四戸黒作、戸ヶ沢七三郎→櫛引十兵衛
・花巻本蔵奉行長坂十太夫・中嶋藤三郎→中野七右衛門
・同相場米蔵奉行、中野七右衛門→蛇口六郎左衛門
・花巻新蔵奉行に神山義右衛門、亀ヶ森久右衛門
- 閏8/10・跡式、花巻御給人佐々木弥内→子弥七郎
・花巻御給人田頭太左衛門婿養子に、岩間作内(同左市右衛門弟)
- 9/24 跡式、花巻御給人田頭太郎左衛門→養子の作内
- 9/26 二子通太田村清水観音別当太宝院、手作地(8石)社領として寄進(10月3日寄進状交付)
- 10/11 安俵通城嶋村六郎右衛門、熟柿30献納
- 10/13 花巻御給人中嶋権四郎へ江刺ヶ半吉家屋敷を給付
- 10/15 八戸勘解由、南彦八郎、八戸九太夫、下田権兵衛、下田覚左衛門に九曜紋付古着の着用を認可
- 10/24 宗旨改、和賀郡21,926人、稗貫郡28,074人
- 11/21 跡式、四戸庄助→子庄左衛門
- 12/14・跡式、中野半右衛門→同新六
・主税様へ、花巻新蔵から米1250駄支給、主計様へ花巻本蔵から750駄
- 12/25 花巻の野々村宇右衛門と高野庄兵衛から鮭披3枚、干蕨10把、串柿10連お歳暮